

『第56回東京同窓会総会・懇親会』準備状況のご報告

概要(前回から変わりなしのため割愛)

活動報告(前回1月合同幹事会報告分以降)

2月上旬～ 会報原稿執筆依頼送付、広告申し込み送付

2/18 実行委員会(懇親会企画検討、会報企画検討ほか) @日本橋+オンライン

現時点の決定事項ほか(前回1月報告分以降)

◇懇親会企画:「松本 今昔動画(仮)」素材収集中、4月から動画編集予定。

◇会報企画検討・推進:内容・広告ともに完全FIX。2月より原稿執筆依頼、広告掲載依頼を送付。同梱はがき用の私設私書箱の手続きが完了。私書箱の住所情報を取得し、受取人払い郵便の手続きを推進中。

◇予算案策定と会場費値上げ影響:会場費/飲食費値上げを受け、**会費1割値上げ(一般11千円、中堅8千円、若手3500円)**で予算案を作成。ただ例年通りの支出では280名参加でも赤字のため、以下施策を打っている。

前回確認した来賓控室利用中止(4万弱削減)に加え、宴会コースの見直し(従前のオリジナルコースからパックプラン(※寿司桶なしなど)の適用で1人当たり約2千円削減も、1人当たりは例年よりやや高め)、実行委員会関連で削減できるコストを全て削減(実行委員会交通費・引継ぎ会費0円計上、記念品とりやめ、恩師来賓なし、配布資料最小化、実行委員会によるバス借り上げなし、法被利用なし等により、約70万円程度削減)、お車代の適正化(割引切符利用により1人往復1.2万円→1万円)、お土産代の見直し(1人1200円で2万程度削減)など、合計75万円ほどのコスト削減を実現。

一方、私設私書箱利用(1.6万円)/個人情報保護シール(4.5万円)等、昨今の情勢に応えた対応も入れている。

こうした施策を打つも、来賓6名(東京近郊外)招待の場合で会場半分(140人定員)の場合では黒字化せず、全室利用(280人定員)の場合で184名以上の出席で黒字化する状況となっている。

※来賓1名追加毎に、東京近郊外で約1.2万円(東京近郊で約2千円)費用発生イメージ

= 損益分岐の人数が来賓1人当たり約3名上昇する

◇各種締め切り日設定:現時点で以下日程を予定している

5/22 はがき〆切(～5/25 到着分が5/29 事務局着・集計)、5/31 HP フォーム〆切、6/5 以降キャンセル料発生

5/28 より会場縮小キャンセル料が発生するが(約6万円)、キャンセル料リスクを取ってでもエントリー期間を長くしている。また飲食は2週間前に大枠人数確定、1週間前人数ほぼ確定(10人程度の変動許容)、前日15時最終確定を会場側から求められているが、過去の動静踏まえ6/5以降のキャンセル料発生としている。

◇今後の進め方:引き続き月次ペースで検討会(オンオフハイブリッド)を設定し、企画検討・準備を進めていく。

以上